



日本文化財科学会第43回大会 セカンドサーキュラー

2026年5月26日発行

日本文化財科学会第43回大会・総会のご案内

日本文化財科学会第43回大会実行委員会
委員長 小林謙一（中央大学）

大会・総会のご案内

会員の皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本文化財科学会第43回大会・2026年度総会は、中央大学多摩キャンパスを会場として下記のように開催いたします。日韓共同セッション「年代測定と有機物分析」も行われます。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、会員外の方の参加も歓迎いたします。関心をお持ちの方にお知らせいたしますよう、併せてお願いいたします。

記

《日本文化財科学会第43回大会・2026年度総会》

期 日：2026年7月25日（土）・26日（日）

会 場：中央大学多摩キャンパス 3号館（東京都八王子市東中野742-1）

主 催：日本文化財科学会

後 援：中央大学

以上



八王子市内宿泊情報提供依頼

日本文化財科学会は、八王子市に宿泊数に応じた学会開催補助金を申請いたします。

参加者の皆様には、なるべく八王子市内の宿泊施設をご利用いただき、その情報をお寄せくださるよう、ご協力をお願いいたします。

2026年7月25日・26日開催の43回日本文化財科学会（中央大学）参加者で、八王子市内の宿泊施設を利用された方は、下記フォームにご記入ください。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

〈入力フォーム〉



<https://forms.gle/7tsLyQB3gjwsrWa6>

〈八王子宿泊施設（PDF）〉



https://www.kuba.co.jp/jssscp2026/pdf/Hachioji_MICE_Guide.pdf

1. 発表形式

[口頭発表]

発表15分、質疑応答3分の計18分です。

プロジェクターとスクリーンをご使用いただけます。発表データはUSBメモリに記録してご持参いただき、発表当日のセッション開始前までにプレゼンテーション用のノートPCにご準備ください。データはPPTX形式あるいはPDF形式を基本とします。

[ポスター発表]

7月25日(土)と26日(日)の両日入替制です。

〈発表番号奇数〉 掲示時間 25日9:00～15:00 (15:30までに撤去してください)

コアタイム 25日13:15～14:05

〈発表番号偶数〉 掲示時間 26日9:00～15:00 (15:30までに撤去してください)

コアタイム 26日12:35～13:25

ポスターパネルは幅900mm、縦2,100mmを予定しております。ポスターはパネル内に収まるサイズで準備ください。掲示用のピンは事務局で用意いたします。テープ類、接着剤は使用できませんのでご注意ください。

2. 参加登録

大会ホームページ (<http://www.kuba.co.jp/jssscp2026>) の大会参加申し込みフォームから参加登録のうえ参加費決済を行ってください。

事前登録期限は7月12日(日)までです。7月12日以降、事前登録をしていただくことはできません。

登録には受信可能なメールアドレスが必要です。登録後に送られる自動返信メールの内容に従い、参加費のお支払いをお願いいたします。

参加登録費

参加者区分	事前登録(支払) 7月12日(日)まで	当日登録
正会員	6,000円	9,000円
非会員(一般)	8,000円	11,000円
学生(会員・非会員)	参加費無料	
賛助会員・団体会員(所属の方)	参加費・要旨集無料	
お弁当※26日(日)のみ・要事前登録	1,000円	

- ・事前登録をされていても期限までに参加費のお支払いがない場合は、大会当日に当日登録の参加費を頂戴いたします。
- ・ご入金後のご返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・学生資格で参加する方には、登録後に確認させていただく場合があります。
- ・すべての参加登録者が電子版要旨集(PDF)をダウンロードできます。
- ・冊子体要旨集(印刷物)の代金は3,000円(税込)となります。ご希望の方は、参加申込フォームにて「冊子体要旨集希望」を選択のうえ、7月12日(日)までに事前登録費と合わせて代金をお支払いください。なお、お渡しは会場が基本となります。送付をご希望の場合は、お問い合わせください。

昼食について

25日(土)は生協食堂1階が11:00～14:00まで営業しております

26日(日)は生協食堂は営業しておりません。お弁当(1,000円・税込)のご注文が可能ですので、事前参加登録時にお申し込みください。

3. 大会

日時: 2026年7月25日(土)・26日(日)

会場: 中央大学多摩キャンパス3号館
(東京都八王子市東中野742-1)

4. 総会

日時: 2026年7月26日(日) 13:25～14:25

会場: 中央大学多摩キャンパス3号館 口頭会場A(3115教室)

5. 日韓共同セッション

日時: 2026年7月26日(日) 9:00～12:30

会場: 中央大学多摩キャンパス3号館 口頭会場A(3115教室)

6. 懇親会

日時: 2026年7月25日(土) 18:00～20:00

会場: 中央大学多摩キャンパス 生協食堂2階

会費: 6,000円

7. ワーキンググループ会議

口頭発表、ポスター発表の枠組みに加えて、テーマ別に会員が自由に討議できるイベントです。

25日(土) 16:15～17:05に開催します。お申し込みいただいたグループを下記のとおりご紹介します。

W-1「東アジア出土ガラス玉の考古学的研究を深めるWG(第2回)」

会場: WG会場1(3101教室)

企画者: 田村朋美、金奎虎、大賀克彦、高橋美鈴、村申まどか、金銀我

内容: 分析化学と考古学を組み合わせることにより、東アジアにおけるガラス玉交易についての考察を深める。今回は、古墳時代後期並行期の日本列島と韓半島百済地域で流通したガラス玉の比較から当該時期の両地域の交流について日韓の研究者を交えて議論する。

W-2「科学調査の倫理観ワーキンググループ」

会場: WG会場2(3102教室)

企画者: 大西智洋、沓名貴彦、鳥越俊行、松井敏也

内容: 文化財の破壊、非破壊調査は判断基準が明確でない部分もある。また、調査時の手続きや調査資料(試料)のその後の管理や取扱いというのは表に出ることはほとんど無い。様々な立場の研究者が議論し適切な文化財調査の方法について分野や世代間の認識のすり合わせを図る。

W-3「彩色材料分析ワーキンググループ」

会 場：WG会場3 (3103教室)

企画者：青木智史、北野信彦、谷口陽子、中村力也、降幡順子

内 容：文化財の彩色材料分析に関して問題意識を有する研究者により始められたWGです。分析装置の特性理解と複数手法併用の重要性を共有し、データ解釈の共通理解を構築して、研究体制の充実を図ることを目的としています。

W-4「負ミュオンを用いた文化財の非破壊調査に関するワーキンググループ」

会 場：WG会場4 (3104教室)

企画者：奥山誠義、久保謙哉、末森薫、反保元伸、二宮和彦、沓名貴彦

内 容：近年利用が盛んになっている素粒子・負ミュオンを用いた非破壊調査法について、原理、調査手法やミュオン施設の現状、今後の展開や可能性などについて、説明や議論を行い、文化財科学への利用の活性化を図りたい。

W-5「文化財科学への放射光応用推進ワーキンググループ」

会 場：WG会場5 (3105教室)

企画者：田中真奈子、阿部善也、奥山誠義、上相英之

内 容：文化財科学への放射光応用推進を目的に、SPring-8が2027年夏頃から予定する大規模改修「SPring-8- II」の詳細を共有し、利用者・利用希望者と運転休止期間中の対応を含め意見交換を行う。

W-6「石造文化財WG」

会 場：WG会場6 (3112教室)

企画者：脇谷草一郎、高取伸光、石崎武志

内 容：石造文化財を対象に、劣化要因に関する基礎研究、実践的な保存対策、保存処理方法について広く情報共有するとともに議論を深める。

W-7「第10回土器科学分析ワーキンググループ」

会 場：WG会場7 (3113教室)

企画者：宮田佳樹、村本周三、福井淳一、宮内信雄、小澤仁嗣、堀内晶子、吉田邦夫

内 容：第10回土器科学分析研究会では、金沢大学の西内巧准教授を迎え、総合土器科学分析学の構築に向け、土器表層タンパク質のプロテオミクス解析による古代人の動植物利用実態の解明の最前線について議論します。

7. 企業セミナー、機器展示・商品紹介

[企業セミナー]

企業主体で機器の紹介、デモやプレゼンを実施していただくセミナーです。企業セミナーは、25日(土)の昼休みに実施予定です

・大塚オーミ陶業株式会社

[機器展示・商品紹介]

- ・ OMデジタルソリューションズ株式会社
- ・ 大塚オーミ陶業株式会社
- ・ 環境リサーチ株式会社
- ・ 光明理化学工業株式会社
- ・ 三恒商事株式会社
- ・ ジャパンマシナリー株式会社
- ・ 株式会社ニコン
- ・ 株式会社パレオ・ラボ
- ・ 株式会社パレット
- ・ ピーエス工業株式会社
- ・ 富士シリシア化学株式会社
- ・ ブルカージャパン株式会社
- ・ 文化財防災センター
- ・ 有限会社ホワイトラビット
- ・ 株式会社三ツワフロンテック
- ・ 株式会社リガク

(五十音順)

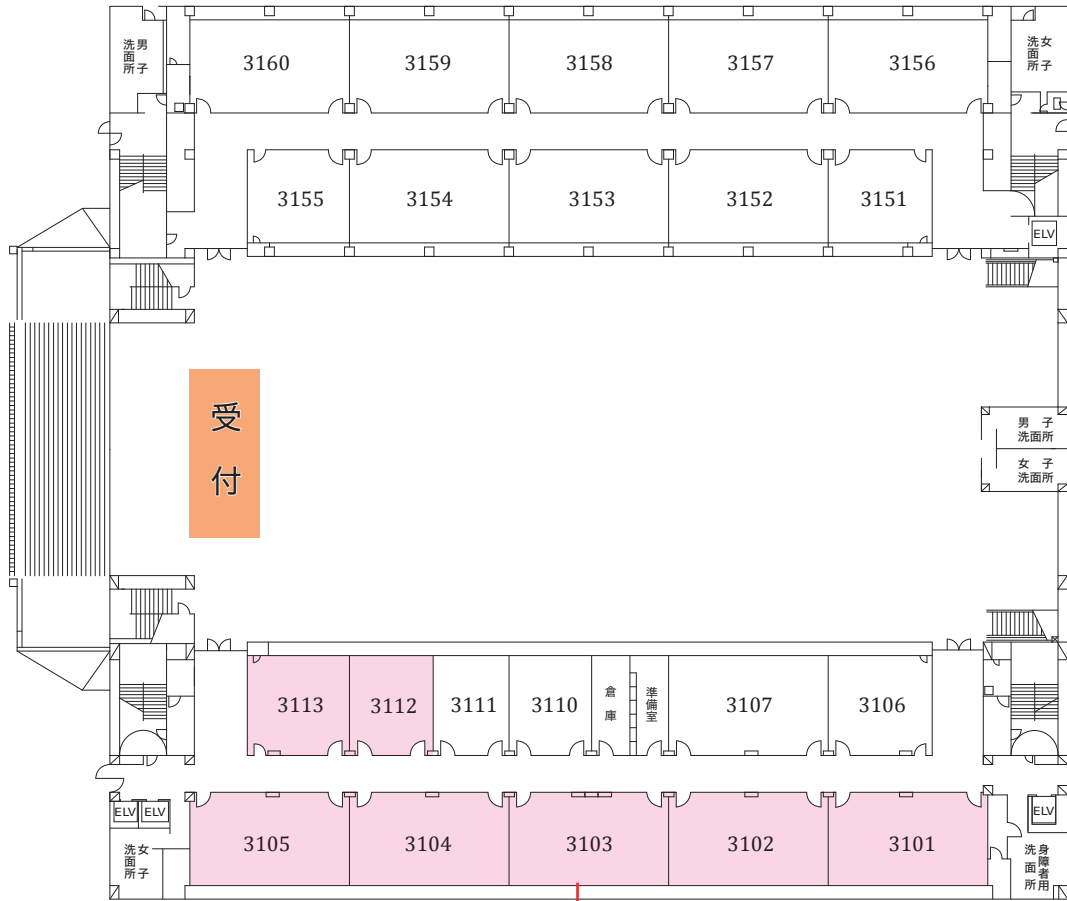
日本文化財科学会第43回大会・総会会場のご案内

中央大学多摩キャンパス (〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1)



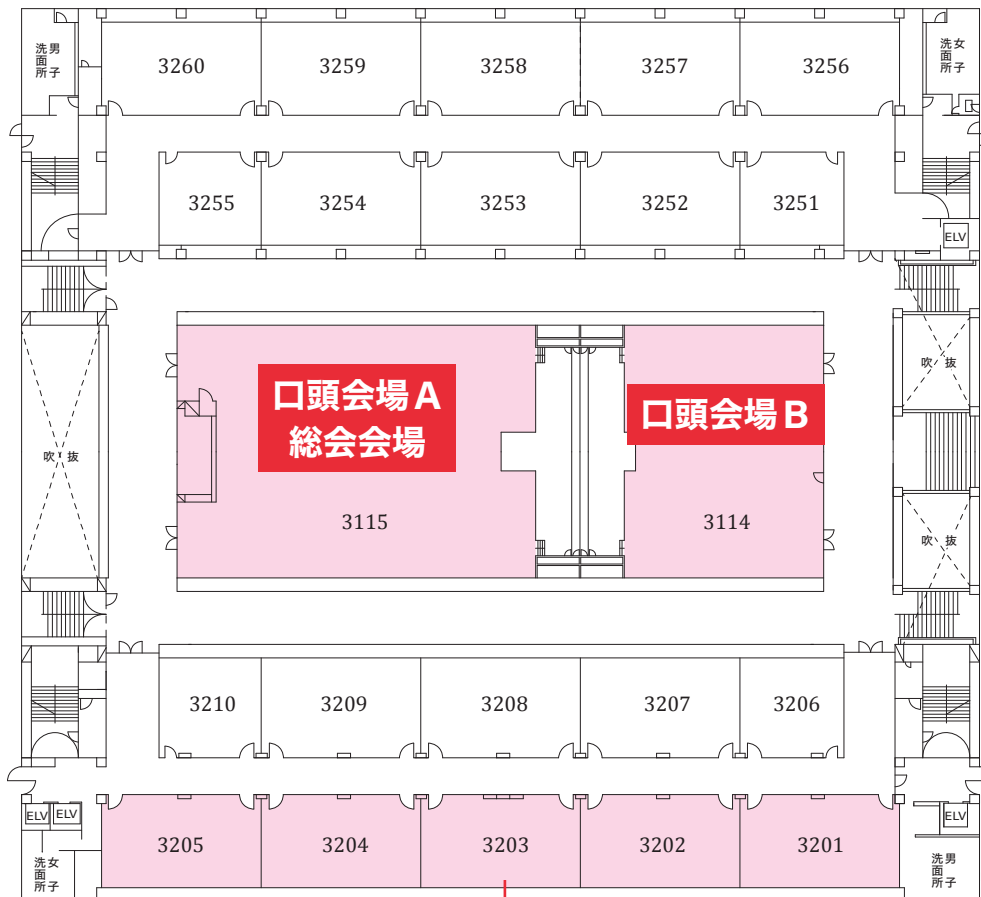
- ①モノレール口：多摩都市モノレール「中央大学・明星大学駅」直結
 - ②正門：京王相模原線・小田急多摩線「多摩センター駅」より
京王バス12分 豊田駅南口行／「中央大学バス停」下車
 - ③西門：JR中央線「豊田駅」より
京王バス8分 多摩センター駅行／「中大西門バス停」下車
 - ④北門：京王動物園線「多摩動物公園駅」徒歩10分
- 詳しくは中央大学ホームページ (<https://www.chuo-u.ac.jp/access/tama/>) をご覧ください。

日本文化財科学会第43回大会・総会 会場図



3号館1階

ワーキンググループ



3号館2階

ポスター会場・企業展示

日本文化財科学会第43回大会の組織

日本文化財科学会第43回大会実行委員会

委員長：小林謙一（中央大学）

事務局長：西本志保子（中央大学）

実行委員：青木智史（奈良教育大学）、秋山純子（東京文化財研究所）、伊佐治康生（新潟県観光文化スポーツ部）、植月学（帝京大学）、大網信良（東京都埋蔵文化財センター）、小澤将彦（横浜市ふるさと歴史財団）、及川穰（中央大学）、片岡太郎（弘前大学）、金子悠人（石岡市教育委員会）、上條信彦（弘前大学）、菅頭明日香（青山学院大学）、工藤雄一郎（学習院大学）、合田恵美子（東京都埋蔵文化財センター）、酒井中（中央大学）、佐藤駿輝（中央大学大学院）、下岡順直（立正大学）、新免歳靖（東京学芸大学）、建石徹（文化庁）、奈良部大樹（埼玉県埋蔵文化財調査事業団）、箱崎真隆（国立歴史民俗博物館）、畑山智史（船橋市郷土資料館）、日高真吾（国立民族学博物館）、松井敏也（筑波大学）
(50音順)

日本文化財科学会第43回大会実行委員会事務局

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6F

(株)クバプロ内

E-mail : jssscp2026@kuba.jp